

2020年度 予算の特徴と 市長の考えは



ねもと よしお
根本義郎 議員

Q 市民の暮らし向上、要望満足度向上にどう応えるのか。

A 市民ニーズにできる限り応えたいと考えますが、財政状況などを踏まえ、選択と集中によって市政を運営します。また、行財政改革に取り組むなど限られた経営資源を最大限に活用します。

Q 合併に伴う新市建設計画事業の現在までの達成状況・達成率は。

A 合併特例債を活用し、基金の造成と建設事業を実施してきました。平成30年度末の建設事業分の合併特例債活用額は、起債限度額の67%を執行しています。

Q 合併効果の地方交付税算定替えて、一本算定との比較で最終的な差額は。

A 平成18年度から15年間の総額は、一本算定の額が約966億円、実交付額が1168億円で、差は約202億円です。

上下水道事業および 料金等の見通しは

Q 水道施設整備計画の更新事業の見通しは。

A 水道施設は建設から40年以上を経過する施設があり、特に老朽化が進んでいる小見川・山田地区水道事業は、城山浄水場の更新、送配水施設の更新による施設の統廃合および栗源地区簡易水道事業の統合を考慮し、水道施設統廃合事業として、平成29年度から着手し、全体事業費は約157億円を見込んでいます。

Q 下水道事業の使用料と水道料金は、県下でそれぞれ何番目に高いのか。

A 水道料金は県内43事業体の中で、10m³使用時で上から9番目、20m³使用時で5番目です。公共下水道使用料は県内34事業体の中で、10m³使用時で上から10番目、20m³

質問事項

- ◆市の2020年度予算の特徴と市長の考え
- ◆1市3町の合併の検閲と現在までの到達
- ◆人口減少・高齢化の急速な進展と上下水道事業および料金等の見通し
- ◆今後の都市計画事業の方向性

使用時で13番目です。



城山第2浄水場浄水施設

新型コロナウイルス への冷静な対応を



かとう ゆうた
加藤裕太 議員

Q 市としてこれまで行ってきた対策は。

A 新型コロナウイルス感染症対策連絡会議を2月4日に設置し、2月27日には新型コロナウイルス感染症対策本部を設置しました。市が主催（共催）するイベントなどの延期や中止などを行う場合の基本方針の策定、不特定多数の人が集まる市の施設の休館などを決定しました。また、文部科学省の要請で市内小中学校の休校を3月2日から実施しました。



新型コロナウイルス感染症対策本部会議(4月8日開催)

Q 歴史的に見ると、世界的に広がる感染症は、感染拡大と同時に未知のものへ

の不安や恐怖を広げていく。それを防ぐには冷静な対応が重要。市内で感染者が発生した場合の対応は。

A 基本的な対応は県が所管します。帰国者・接触者相談センターが香取保健所に開設され、症状が疑われる人を帰国者・接触者外来に案内します。

未来につながる聖火リレーを

Q 市を走行する聖火リレーは、どこから観覧できるのか。

A ランナーが舟に乗り、入船橋緑地広場から与倉屋大土蔵付近までの約800mを走行するため、小野川の両岸になると考えます。

Q 聖火リレーは香取市を世界中に知ってもらうチャンス。各種メディアに取り上げてもらえればさらに周知できると考えるが、見解は。

A 休日や市役所以外の場所でも証明書等を受け取れるサービスの利用実績は。令和元年12月末までに、住民票の写し228通、印鑑登録証明書239通を発行しています。

質問事項

- ◆東京2020オリンピック・パラリンピック
- ◆新型コロナウイルスへの対策
- ◆災害対策・安心安全なまちづくり
- ◆サイバー攻撃への対策と情報セキュリティ対策
- ◆市役所・支所の利便性向上

A 県オリンピック・パラリンピック推進局と連携を図りながら準備を進めます。

さらに便利な市役所・支所を

Q 市でのキャッシュレス決済への対応状況と今後の利用拡大は。

A 市県民税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税、国民健康保険税、介護保険料および後期高齢者医療保険料は、クレジットカードとラインペイで対応しています。今後は、先進自治体の取り組みを参考に市民ニーズや費用対効果を検証しながら、調査研究します。

Q 休日や市役所以外の場所でも証明書等を受け取れるサービスの利用実績は。

A 令和元年12月末までに、住民票の写し228通、印鑑登録証明書239通を発行しています。